



## 一般質問に23人が登壇

### 副市長就任にあたり 抱負について



野口 浩昭  
議員

春日部市は埼玉県東部地域の核となる都市として、様々な行政施策を進めるとともに、行政改革を成し遂げ、地方分権などの行政課題に対応していく必要があります。その実現のために、副市長は市長とともに一致協力し、最大の努力をお願いします。

そこで、副市長として就任する前の春日部市の印象について、また、春日部市のまちづくりについてどんな印象を感じたか、さらに春日部市の将来への展望をどう考えているかの3点について伺います。

#### ○副市長

就任前の印象としては、平成16年に春日部市都市再生シンポジウムのパネリストとして招かれたときに、春日部の各界の皆さんがまちづくりについて情熱を持って語っていることに感銘を受けました。

次に、まちづくりの印象は、まちづくりは「現場主義」か

つオーダーメイドの必要があるとの認識のもと、着任早々のタウンウォッチングや意見交換会等を通じ、3年前と比べて様々な動きが新たにでてきたことが確認できました。

将来への展望は、土地利用計画の見直し、まちづくりリーダーの育成、行政改革や企業の誘致等で財政上の体力をつけること、幹線道路や連続立体交差事業の早期事業化に向け関係機関に働きかけること等、様々な課題が出てくると思いますが、補佐役として市長を支え、全力で取り組みます。

### 病院の問題について



蛭間 靖造  
議員

市民の市立病院に対する関心は非常に高くなっており、特に小児科の夜間診療の件は問い合わせも多くあります。

そこで、4点にわたり質問します。

1つ目、小児夜間診療の現状について。2つ目、越谷市立病院に後方支援病院を願

いしているか。3つ目、市立病院の現在の勤務医の状況。4つ目、市立病院は総合病院として機能しているのか。

#### ○病院事務部長

後方支援病院としては県立小児医療センターにお願いしており、越谷市立病院にはお願いしていません。勤務医の状況は、平成17年度は53名でしたが、本年5月では43名に減少しています。総合病院としては、いろいろな疾患に対応できる体制が必要ですので、病院長が中心になり各科の医師確保に努めています。

#### ○病院長

小児科は4月からは常勤医師が2名という状況になり、夜間の小児医療が対応できなくなっています。小児科医は全国的に不足していますが、春日部市としての救急体制、特に小児科をどうすべきかを改めて検討しながら、今は各方面に交渉を進めています。

#### このほか

○古隅田川の環境整備について  
○市道3-251、3-202号線の交通量の緩和について  
○赤沼地区にバス路線の拡充を

## 保育行政について



小久保博史  
議員

発達障害児への支援は、現在は十分とは言えない状況だと思います。早期発見、早期療育のためにも定期的に巡回指導を行うことや専門的な機関を作って支援していく必要もあると思います。そこで発達障害児の保育について、市の対応はどうか伺います。保育士の配置基準では2歳児までは6対1で、3歳児になると20対1ですが、これは現実合っているのでしょうか。さらに、病児保育を実施する予定は今後あるのか伺います。また、延長保育など、通常保育以外のサービスの利用負担について、通常保育だけの方と、常に延長等を利用されている方とでは不公平が生じていないでしょうか。公立と民間との経費負担上の格差も埋めていくべきと考えます。

### ○福祉部長

発達障害児の保育に際しては、面接等で判断の上、保育

士の加配が必要な場合は、公立は臨時保育士を雇用し、民間は経費の一部を補助金で助成しています。また、配置基準による保育が難しい場合にも、臨時保育士の加配等で対応しています。病児保育は医療機関等での新たな施設整備が必要のため、現在は実施の予定はありません。延長保育については、公立、民間とも無料でサービスを行っています。今後は保育料の全体的な見直しの中で研究します。

### このほか

- 公共施設の減免について
- 官民協働について

## 市立病院の経営健全化について



英明 滝澤  
議員

地方公営企業法の全部適用については、どのように検討が進んでいるのか伺います。

また、全部適用に関しては、病院管理者の手腕が経営を左右すると思います。病院長が今年度で定年を迎えると同っています。後任の人選等については病院管理者との関係

も踏まえて慎重に検討する必要があります。非常に重要な人事案件であると思います。任命権者として市長のお考えをお示しいただきたいと思えます。病院長の人選は慎重かつ早急な検討をお願いし、今年度も厳しい経営状況が見込まれますので副市長を中心とした市長部局職員の英知を振り絞って早急に経営改善の有効手段を講じるよう強く要望します。

### ○病院事務部長

地方公営企業法の全部適用に向けて取り組むべき事項の調査・研究を行い、タイムスケジュールの検討を行っているところです。全部適用の場合は、病院専任の事業管理者に病院事業の執行に関する大幅な権限が直接与えられます。

### ○市長

病院長人事については大変重要であると考えています。市の政策医療を担い、将来に渡り安定的に良質な医療を提供するとともに、高度な医療技術を持った医師を取りまとめ、関連大学との太いパイプを持ち、医師の確保ができる病院長が必要と考えています。

### このほか

- 災害時医療体制の整備について

## 南桜井駅構内へのバリアフリー化について



清年 富樫  
議員

春日部市の統計では、南桜井駅は、春日部駅、一ノ割駅、武里駅に次いで4番目に多い乗降客があるとのこと。しかしながら、南桜井駅南口は、道路と駅構内では段差があり、高齢者や足の不自由な方々にとって非常に通行しにくい場所となっています。車いすでも利用できるエスカレーターが設置されていますので、このような方々が自由に行き来できるように昇降口付近へスロープを設置していただきたいと思います。見解をお伺いします。

### ○福祉部長

南桜井駅は平成20年度に駅舎のバリアフリー化を行う予定で、上り・下りホーム、南口、北口にそれぞれエレベーターを設置し、上りホームには障害のある方も利用可能な多目的トイレを設置する予定です。駅南口については、車道と分離された歩道形態が鉄

道事業者の敷内にあり、不便をおかけしている状況と認識していますので、平成20年度に行う工事に合わせて駅利用者の方々との移動等が円滑に行えるよう鉄道事業者と協議を進めてまいります。

### このほか

- 道の駅「庄和」付近の駐車対策について
- 国道4号線（水角地内）陸橋脇側道の廃車の撤去について
- 「教育サポーター」制度の導入について
- 空き地の雑草対策及び、空き家の管理について



南桜井駅南口

**農免道路(広域農道)を  
県道に格上げできないか**



鈴木 保 議員

埼玉広域農道は農業基盤の確保を目的に整備されましたが、交通量は国道、県道に匹敵する流通のアクセス道路となり、年々交通量が増加しています。また、近年、車両の大型化により、道路の維持、補修費がかさむことは必然的であり、市の財政負担がますます増加するよう思われます。幹線道路化された埼玉広域農道を良好な道路として維持していくことは困難であり、一刻も早く関係自治体で協議をして県道に格上げ要望をし、関係自治体の財政負担の軽減を図るべきだと考えますが、ご答弁をお聞かせください。

**建設部長**

交通量の増加に伴い、市が負担する埼玉広域農道の維持管理費は、他の道路維持管理予算を圧迫しています。平成7年8月には、新規県道認定路線として要望し、平成8年2月には埼玉広域農道調査報

告書を作成し、県及び関係機関に要望しています。

**市長**

埼玉広域農道に關係する自治体と、さらなるパートナーシップを築き、機会をとらえて埼玉県及び関係機関に、みずから積極的に要望してまいりますと考えています。

**このほか**

- 旧庄和第一保育所跡地利用について
- 春日部市の花、木、鳥について
- 江戸川堤防、16号以南の堤内を防災道路として利用しては



埼玉広域農道

**公益目的の団体や  
社会教育関係団体の  
公民館使用料は無料に**



松本 浩一 議員

今年の3月議会で、減免規定が示されないまま、公民館の有料化が決定されました。3月議会以後の減免規定の策定結果を伺いたい。

公民館は社会教育施設として、多くの市民や団体が自分たちだけのためではなく、社会教育の推進や公益のために使用しています。これらの場合は、使用料を免除するべきだと思いますがどうですか。

また、卓球の場合は、ウィングハットでは、1時間当たり100円なのに、公民館では面積による使用料です。卓球団体から不公平と要望があり、使用料を1台当たりにするという聞いていますが、面積による使用料算定の原則はなくなったのか伺いたい。

**社会教育部長**

市、小中学校、障害者とその扶養者や介護者が免除となります。減免は、あくまでも例外的な措置と考えています。

体育施設との不公平感を与えないため、卓球は附属設備の使用料として検討していただきます。また、バドミントンなども、附属設備の使用料を設けることを検討しています。

**市長**

受益者負担の原則に基づき、負担の公平性を確保するため、使用料を免除することは適切ではないと判断しています。市との共催事業は免除します。

**このほか**

- 不登校児童、生徒へのサポート体制の充実を
- 循環型農業で食育や地産地消の推進を

**市立病院の充実、発展を**



秋山 文和 議員

子育て日本一を標榜した市長のもとで、市立病院の産み育てる機能は後退しています。小児科の医師数も減り、県の2次小児救急や、現在入院も受けられなくなりました。NICU、新生児集中治療室が機能しない以上、市内産科医の院の後方支援病院としての機能も失われます。さらに、小児科医師も退職される予定があるという話ですが、そうなれば、小児科と産科がない市立病院となります。小児科と産婦人科存続のために医師確保の見直しについて伺います。

また、市立病院設置者として市長は、今置かれているこの状況に対して、どう努力をされるのか伺います。

**病院長**

今、病院として、まず小児科医師を確保することが一番重要です。小児科医師、産婦人科医師の招聘に努め、特に小児科については、引き続き努力したいと思っています。

また、選ばれる病院とするためにも病院の再整備が必要だと思っています。

**市長**

子育て日本一を掲げている中、小児救急を初めとした小児医療が医師不足から後退することは、大変なことであると大きな危惧を持っており、医師の確保に向けて病院長とともに積極的に努力してまいります。

**このほか**

- 合併問題は民意を中心に
- 県道の信号機、交差点改良を(豊春小北東側)

## 市税等の支払いについて



五十嵐みどり  
議員

コンビニで市税などが納付できる自治体が全国的にふえています。県内18市でも実施され、埼玉県など多くの自治体でも準備を進めており、これは時代の流れではないかと思うのです。当市でも納税者の利便性や収納率の向上を図るため、コンビニでの納付を検討すべきであると考えます。

また、今年の4月より法改正され、自治体経営の病院でもクレジットカードでの支払いができるようになりました。埼玉県立の4つの病院では既に支払いができるようになっております。市立病院でも利便性を図るため実施いただきたいと考えます。

### ○収税管理担当部長

コンビニは年中無休で24時間営業をしているところが多く、コンビニでの納付は市民の利便性が大きく向上すると思われれます。導入について引き続き検討してまいります。

### ○病院事務部長

クレジットカードの利点として、患者様側には緊急時に現金がなくても安心して受診できたり、病院側でも現金処理の事務軽減や、未収金発生回避などが期待できます。しかし、手数料等の負担が生じますので、関係部署と調整しながら研究してまいります。

このほか

- 学校図書館の図書整備について
- 自転車の走行ルールの徹底について
- 高齢者マップの作成について

## 図書館機能の充実について



片山いこ子  
議員

(仮称)庄和図書館の整備に対して、12月議会でも3万筆以上の署名が添えられた請願が提出されました。春日部地域で署名をされた方からは、「現在の春日部市の中央図書館では、24万人余の市民の教育・文化の質の向上を担う図書館として不十分。新しい図書館

ができるのであれば、武里分館も含む3館で機能分担を図り、図書館機能を充実させてほしい」という意見を多く伺いました。

そこで、(仮称)庄和図書館の整備方針の見直しの中で、現在の中央図書館と武里図書館と3館で機能分担を図る、という観点で検討や計画の見直しが行われたのか伺います。

### ○社会教育部長

(仮称)庄和図書館の整備方針の一つとして、市立図書館3館の機能分担を検討しています。その内容は、中央図書館を調査・研究を対象とした図書館として、武里図書館は地域に根ざした貸出し中心の分館として、(仮称)庄和図書館はゆったりとしたスペースで読書に親しみ、学習のできるスペースも備えた滞在型の図書館とする、というものです。

また、3館が連携することで、市民に対して総合的に充実したサービスの提供ができるものと考えています。

このほか

- 学力テストについて
- 市民参加条例の制定について
- 公共施設の使用料について

## 「森の中の図書館」早期実現を！ 請願採択を真摯に受けとめ



福田 晃子  
議員

多くの市民が待望している(仮称)庄和図書館、「森の中の図書館」建設については、規模を縮小することなく早期に実現すべきです。

昨年11月27日に位置指定した総合支所の図書館面積(庄和総合支所1階南側と真ん中の通路、2階の議場部分の約1600平方メートル)や、蔵書数5万から6万冊では、請願趣旨にこたえてはいません。武里図書館の蔵書数は約11万3千冊ですから、半分の蔵書数です。少なくとも10万冊以上にするべきです。

市長は、請願採択を真摯に受けとめると言うのなら、11月27日決定の位置、面積、蔵書数を白紙撤回し、請願趣旨に沿って見直すべきです。

### ○社会教育部長

12月議会でも採択された「森の中の滞在型図書館の早期実現を求める請願」の趣旨として、森の中の滞在型図書館と

して4つのコンセプトがあります。①森の中の図書館として憩い滞在する空間、②高齢者と障がい者にやさしい空間、③親と子が安全に楽しくふれあう空間、④デジタルテクノロジー(電子情報及び電子機器)を活用した空間です。

これらの考え方を最大限尊重するにはどうすればよいか、1600平方メートルの面積も含めて、現在見直し作業を進めています。平成19年度中には基本設計業務の発注をしたいと考えています。

このほか

○循環バス運行事業について



庄和総合支所